

# 平成 26 年度公益社団法人青森観光コンベンション協会事業計画書

## 《基本方針》

平成 26 年度は、東北新幹線東京～新青森間がすべて「はやぶさ」となり最速 320 km/h で運行され平均 9 分の短縮となる。

更に、7 月からは ANA 大阪便及び札幌便の就航により JAL、FDA、大韓航空と合わせた航空路線が充実するほか、外国大型クルーズ客船の寄港も増加傾向にある。

これにより青森市は陸・海・空の交通のハブ都市として重要な役割を担うことから、情報発信の充実と観光客受入態勢の強化並びに広域連携及び広域観光商品の開発に取り組む。

また、外国人観光客の動向は観光庁による日本文化の情報発信により、東南アジア、中国、韓国、台湾、豪州等からの訪日観光客が増加傾向にあり、2020 東京オリンピック開催決定など今後益々の増加が見込まれている。

青森市では青森空港ソウル定期便のほか、台湾チャーター便の増加、函館空港に台湾定期便が毎日就航していることから、青森市への外国人観光客誘致のため受入態勢の強化及び周遊プランの開発による誘致プロモーションに努める。

コンベンション誘致については、引き続き全国大会、学会等の誘致に努めるほか、スポーツコンベンションやインセンティブツアー等の MICE (※1) 誘致についても誘致プランの検討に努める。

これらの課題を実行するため、青森県、青森市、青森商工会議所、青森県観光連盟、青森市観光振興会議等各種関係機関との連携を密にし、青森市の産業振興並びに経済発展のため、会員及び役職員一丸となり総力をあげて各種事業に取り組む。

※1 MICEとは (M) Meeting (会議、研修、セミナー)、  
(I) Incentive (招待・優待・視察)、  
(C) Convention (大会・学会)、  
(E) Exhibition (展示会)  
の頭文字をとった造語

## 《重点事業》

1. 北海道新幹線開業対策
  - ①青森市の魅力づくりと東青地域との連携協力
  - ②東青地域周遊パスの検討
  - ③津軽半島、下北半島、道南周遊コースの検討及び開発
  
2. 外国人観光客受入対策の強化
  - ①観光事業者用語学研修の推進
  - ②外国語表示による地域の魅力 PR と案内表示の充実
  - ③着地型観光コースの設定と商品開発
  
3. 冬季観光客増加対策
  - ①「こころ、あったか。あおもり冬感動プロジェクト」事業の強化
  - ②「八甲田ウォーク」外国人観光客受入対応の検討
  
4. 「青森ウォーターフロント」の賑わい創出
  
5. 「青森ねぶた祭」並びに「ねぶたの家ワ・ラッセ」の魅力構築
  
6. 「青森県の縄文遺跡群」世界遺産をめざす会への協力

## 《公益目的事業》

### I. 観光振興事業

#### 1. 観光客誘致事業

##### (1) 観光キャンペーン・誘致セールス事業

青森県、青森市、青森県観光連盟、函館及び県内観光コンベンション協会と連携し、各種観光キャンペーン及び教育旅行誘致活動に参画するとともに、青森市物産協会の観光物産展を支援し青森市への誘客促進に努める。

- ①首都圏、大宮、仙台における観光キャンペーンへの参画
- ②首都圏、北海道、秋田県、岩手県からの教育旅行誘致セールス

- ③旅行社訪問及び招聘による旅行商品開発依頼及び情報収集
- ④青森市物産協会が行う観光物産展への協力
- ⑤東京青森県人会主催の青森人の祭典への参加
- ⑥山形市で開催される東北六魂祭への参画

## (2) 外国観光客誘致事業

韓国、台湾からの青森空港及び函館空港を利用した観光客誘致並びに外国大型クルーズ客船寄港の増加及び東京オリンピック開催を見据えた外国語対応の推進に努める。

- ①外国語表記及び語学研修の推進
- ②青森空港ソウル便を活用した韓国観光客誘致セールス
- ③青函広域連携による台湾観光客誘致セールス

## (3) 観光振興事業

北海道新幹線開業を見据えた青函、津軽、下北等各地域との広域連携による観光商品開発並びに大型クルーズ客船の受入対応及び冬季観光活性化対策に積極的に取り組む。

冬季観光活性化に向けては、ウォーターフロントを中心に青森ならではの雪の街を演出し、「こころ、あったか。あおもり冬感動プロジェクト実行委員会」の事務局として「灯り」と「食」をテーマに賑わいの創出に積極的に取り組む。

- ①あおもり冬感動プロジェクト「灯り」と「食」の充実
- ②ウォーターフロントを中心とした観光活性化事業の実施
- ③青函及び県内広域観光商品の開発及び支援
- ④青森市を拠点に奥津軽地区及び下北半島との回遊性を高めるための魅力創出事業の検討並びに協力
- ⑤東青地域周遊パスの検討
- ⑥クルーズ客船の寄港促進と受入態勢の充実
- ⑦「青森県の縄文遺跡群」世界遺産をめざす会への協力
- ⑧「青函連絡船八甲田丸就航 50 周年記念事業」への協力
- ⑨「観光シャトル・ルートバス運行」の広報宣伝、運営協力
- ⑩「第 8 回津軽三味線日本一決定戦」への協力
- ⑪「第 9 回 AOMORI 春フェスティバル」への協力
- ⑫「旅と健康をテーマとした観光商品開発」支援協力
- ⑬「あおもり秋まつ里」への協力 9/20～10/26

## 2. コンベンション誘致・支援事業

### (1) コンベンション誘致事業

青森市での全国大会・東北大会・学会等の開催を誘致するため、首都圏における誘致活動並びに青森県内の団体関係者、大学関係者へのコンベンション開催を強く働きかける。

また、2018 韓国平昌冬季オリンピック及び 2020 東京オリンピックの事前合宿等の誘致に取り組む。

- ①東北地区コンベンション推進協議会合同誘致活動への参画
- ②青森県観光連盟と共同で国際ミーティングエキスポへの出展
- ③コンベンション説明会開催
- ④コンベンション開催支援ガイドの作成、配布
- ⑤MICE 動向調査と誘致プランの検討

### (2) コンベンション開催支援事業

青森県及び青森市のコンベンション開催助成金制度の申請窓口としてサポートするほか、歓迎ムードを高めるための歓迎看板や歓迎ポスターを掲示する。更に、コンベンションバッグの販売、郷土芸能の手配、大会・学会運営に必要な備品類の貸出を行う。

- ①窓口相談によるコンベンション助成金の申請サポート
- ②新青森駅、青森駅、青森空港への歓迎看板設置及び市内商店街、飲食店、コンビニ等でのポスター掲示による歓迎ムードの醸成
- ③コンベンションバッグの作成、販売、郷土芸能の手配及びコンベンション開催に必要な備品貸出によるサポート

## 3. 情報発信事業

### (1) 観光情報整備事業

八甲田を中心とした豊かな自然、食文化、縄文遺跡群、ねぶた祭等本市の恵まれた観光素材及び交通機関、宿泊施設、観光施設等を観光情報プラットフォームとして整備し、ホームページ、観光パンフレット及び観光 PR 動画による情報発信を行う。

- ①「あおもり案内名人」ホームページの運営
- ②「ねぶた祭オフィシャルサイト」の運営
- ③「Facebook」による情報発信

- ④青森市内ガイドマップ「いい旅あおもり」の作成 250,000 部
- ⑤飲食店ガイド「食楽青森」の作成 70,000 部
- ⑥観光情報データベースの更新

(2) 八甲田・十和田ゴールドライン開通フェア事業

青森の春の観光の幕開けである 4 月 1 日の八甲田・十和田ゴールドラインの開通を全国に PR する。

- ①第 25 回八甲田ウォーク 実施時期 3 月 30 日、31 日
- ②外国人観光客受入対応の検討

(3) 食文化情報発信事業

豊かな「海の幸」「海鮮食材」の PR 強化をはかり、「七子八珍」をはじめ、「すしクーポン」、「のつけ丼」、「帆立小屋」等、青森の豊かな食文化の情報発信に努める。

- ①食文化周知イベントの検討
- ②総合的な食文化の情報発信

(4) 観光案内所運営事業

JR 青森駅前の青森市観光交流情報センターと新青森駅のあおもり観光情報センターの運営管理者として、観光客に満足していただけるよう適切な観光案内に努める。

また、青森市観光交流情報センターでは、青森市の名所、旧跡、名物、地元でこよなく愛されているお店、市民も知らない隠れた魅力などを網羅した散策コースを設定し、市民ボランティアと一緒に廻り案内するまち歩き「あおもり街てく」事業を円滑に運営する。

- ①青森市観光交流情報センター（青森市指定管理者）  
指定管理期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
- ②あおもり観光情報センター（青森市委託）

4. 部会活動

観光振興事業を通じて観光客誘致による地域経済の活性化を促進するため、理事会が設置する部会において企画検討を行う。

- ①誘客推進部会
- ②情報化推進部会
- ③七子八珍推進部会

## Ⅱ. 青森ねぶた祭事業

### 1. 青森ねぶた祭実行委員会運営事業

青森市の観光宣伝を行うとともに、地域経済及び文化振興を図るため実行委員会方式により青森ねぶた祭を開催する。

ねぶた祭の健全かつ円滑な運営を図るため、ねぶた祭のPRポスター、パンフレット、交通案内等のチラシの作成、運行コース・運行方法の検討及び参加団体との連絡調整、県内外の観光客受け入れに伴うトイレの設置、観光案内所の運営、ねぶた制作場所の設置、コース・歩道の清掃等を行う。また、観光客の利便性の向上を図るため、観覧席の販売及び駐車場の貸し出しを行う。

#### (1) 総務委員会事業

- ①ポスター等による広告宣伝
- ②前夜祭並びに安全祈願祭・開会式の実施
- ③ミスねぶたコンテストの開催
- ④写真コンテストの開催
- ⑤まつり本部の設置・運営
- ⑥ラッセランドの設置・運営
- ⑦魅力拡大のための地域全体の雰囲気作りの醸成

#### (2) 伝承育成委員会事業

- ①制作後継者によるミニねぶた・中型ねぶたの制作
- ②ねぶた囃子、金魚ねぶた等体験教室の実施
- ③参加団体や地域運行団体への奨励金・助成金の交付
- ④参加団体に対する奨励額の交付
- ⑤ボランティアによるラッセランド内の無料ガイドの実施

#### (3) 審査委員会事業

- ①大型ねぶたへ各賞の設置及び授与
- ②審査方法の協議

#### (4) 運行委員会事業

- ①スムーズな運行方法・運行コースの検討
- ②正装ハネト推進運動の実施
- ③ハネト増加対策の実施

- ④本部役員団の運営（休止中）
- ⑤吹き流し運行の継続的な検討

（5） 渉外委員会事業

- ①観光案内所設置・運営
- ②運行コース周辺の清掃美化対策の実施
- ③各種ガイドブックの製作
- ④大型バス・普通乗用車臨時駐車場、誘導看板等の設置
- ⑤観覧席設置並びに観覧者の受け入れ業務
- ⑥周辺事業所へのトイレ開放依頼並びに仮設トイレの設置

（6） 海上運行委員会事業

- ①海上運行の実施
- ②海上運行台数 6 台態勢の検討
- ③花火大会との演出調整

2. 青森ねぶた祭保存会の開催

青森ねぶた祭の保存伝承と祭の発展に寄与することを目的として、青森市及び青森ねぶた祭実行委員会に対し、意見、勧告、指導、助言、提言を行う。

開催時期 7月中旬（実施計画）

10月中旬（事業報告）

Ⅲ. ねぶたの家ワ・ラッセ運営事業（青森市指定管理者）

1. ねぶたの家ワ・ラッセ運営事業

青森市文化観光交流施設「ねぶたの家ワ・ラッセ」の指定管理者として、ねぶたの伝承や後継者育成、地域経済の振興を目的に、ねぶたの展示・歴史紹介やねぶたに関する体験教室等を行う。

指定管理期間 平成 22 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

(1) ねぶた運営事業

- ①大型ねぶたの展示
- ②観覧者へのハネト体験の実施
- ③各種体験教室の実施
- ④後継者育成用ミニねぶた、中型ねぶた制作の実施

(2) 地域文化振興事業

- ①ホームページでの広報宣伝
- ②青森ベイエリア共通券の発行
- ③郷土芸能ライブ、チャリティーライブの開催
- ④津軽笑っせ劇場への協力

(3) 企画展事業

- ①ねぶた学講座の開催
- ②ねぶた下絵コンクールの実施
- ③もつけどじょっぱりの魂っこ展への協力

(4) 集客対策事業

- ①旅行社及び県外小中学校へのセールス活動の実施
- ②集客力強化の為の検討及び実施
- ③四季を通したイベントの強化

2. 維持管理運営業務

青森市文化観光交流施設「ねぶたの家ワ・ラッセ」の管理運営を行う。

(1) 施設維持管理業務

(2) 事務管理業務

## 《収益事業》

### 1. ねぶたの家ワ・ラッセ

#### (1) 貸室事業

施設内の貸室、イベントスペース貸与

#### (2) 駐車場運営事業

有料駐車場の管理運営

#### (3) テナント管理業務

お土産店・レストランの管理

①お土産：あおもりふるさとショップ「アイモリー」

②レストラン：魚っ喰いの田

### 2. 旅行業業務

各種旅行の提案及び宿泊斡旋業務による手数料収入を図る。

①旅券等の販売業務

②宿泊の斡旋業務

### 3. 会員サービス事業

組織強化のため、会員サービスを充実し、会員の維持、拡大を図る。

①コンベンションニュースの発行

②ねぶたカレンダーの発行

③会員増強運動の推進

### 4. 職員研修・観光交流事業

職員研修及び他都市コンベンション協会との情報交換によるスキルアップを図る。また、インバウンド事業促進を目的に近隣諸国との交流事業に参加する。

①旅行業研修への参加

②東北地区コンベンション推進協議会研修への参加

③先進観光地の視察研修

④交流事業参加